

何でも相談
頼りになる人

再び

県政へ！

くらしとなりわいの願い
少数者の声を届ける人

中山嶋れん

秋保かがやき支援学校の建設現場で



特別支援学校新設へ

関係者の声いかした学校に

仙台圏の特別支援学校が必要面積の半分しかない
と県議会で指摘。秋保に来年4月開校予定。

●障害者の医療費助成を窓口無料に

非正規職員を正規に
賃金の男女格差をなくす

子どもの医療費無料制度
こんどは18歳までに

LGBT相談窓口設置
多様性輝く社会へさらに

当事者の方々と連携して性的マイノリティーの人権
擁護を議会で取り上げ、県計画文書に初めて明記。

●パートナーシップ条例の制定

小・中学校
学校給食無料に

県で1/2補助。予算の0.5%で、
できる。

水道料金値下げ

民営化をやめて
再公営化を

食と地域農業
まもる

個別農家の補助創設
中山間地の支援強化

東北一の財政力

1兆円をくらしにいかす

宮城県的一般会計予算をくらしのために。

税金の使い方を見直す

JR貨物の移転と広域防災拠点に400億円以上？ JR
貨物にも費用負担を求める。

日本共産党

2023年8・9月号外

発行：新みやぎ社 仙台市青葉区一番町1丁目12-25

☎ 022(267)1511

中山嶋れんさんの活動や見解を紹介します。



仙台赤十字病院、東北労災病院、
県立がんセンター、県立精神医療センター

**4病院まもれ
地域医療充実を**

**住まいは人権
住み続けられる
県営住宅へ**

**気候危機打開
原発ゼロへの
エキスパート**

中山嶋れん

略歴
1953年、青森県下北郡大畑町(現むつ市)生まれ、青森高校、東北
大学理学部物理学科卒業。現在、党宮城県委員会政策委員長、原発問題
住民運動宮城県連絡センター世話人。シエルの会(自閉症児の親の
会)会長。東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター事務局。
泉区館に在住。家族は妻、子1人。男声合唱、将棋が趣味。



村井県政の悪政と対決

コロナのさなかに保健所を減らし、今
度は病院を減らそうとする冷たい県政。

仙台市の県議で保健所減らしに正面
から反対したのは日本共産党県議でし
た。

入居者の意見を聞かない県の一方
的な県営住宅廃止方針は撤回させま
す。まともな維持管理と建て替えこそ
必要です。県営住宅の活用に転換させま
す。

中嶋れんさんの提案で、小規模石炭
火力発電所も県の環境アセスの対象
に。

汚染水の海洋放出に替わる対策をす
すめ、女川原発再稼働は中止を。

県民の声を聞かない強引な村井県政。ささえる県議ば
かりではくらしを守れません。
きっぱり対決できる中嶋れんさんが必要です。

知事礼賛の自民・公明

「課題を先送りすることなく確実に実施を」(自民党県議)
「リーダーシップを発揮されることをお願い」(公明党県議)

国の悪政からくらしを守る

マイナ保険証やめて。インボイス中止・延期を。

自民党や公明党は国会で保険証廃止に賛成。県議会
では、マイナ保険証やインボイス中止・延期の意見書
案を否決。一方で、女川原発再稼働に賛成…。維新の
会は「第二自民党」と代表が自認。

くらしを守るために、国にモノ言える中嶋れんさん
はなくてはなりません。

平和と護憲の議席を泉区から

王城寺原演習場で米軍海兵隊が人道に反する白リン
弾を使用。県議会で追及し、その後使用中止に。
岸田政権の「戦争する国づくり」に立ち向かう人。



県も国も民意が通る政治を
中嶋れんと
ワンチームで **日本共産党**